



腫瘍内科医は なぜ必要か

日時：平成24年 **4**月**15**日(日)

(日本内科学会総会・講演会会期中)

会場：京都市勧業館 みやこめっせ 地下1階 特別展示場
(京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)

対象：日本内科学会または日本臨床腫瘍学会会員(参加費無料)

プログラム

1. 腫瘍内科医会・総会 (午前11時～12時)

2. セミナー「腫瘍内科医はなぜ必要か」

(午後1時～2時25分)



1. 話題提供—実例から課題を提起—

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授 関 順彦

2. 基調講演—腫瘍内科の必要性—

東京慈恵会医科大学内科学講座 腫瘍・血液内科 教授 相羽恵介

3. パネルディスカッション「腫瘍内科はなぜ必要か」

相羽恵介(東京慈恵会医科大学)、小嶋修一(TBSテレビ報道局)、
天野慎介(NPO法人グループ・ネクサス)、村田善則(文部科学省高等教育局)、
郷内淳子(患者発・宮城版退院時サポートプロジェクト)、関 順彦(帝京大学)、
前村 聡(日本経済新聞社) *五十音順で掲載しております。



腫瘍内科教室紹介 (午後2時40分～2時50分)

近畿大学医学部内科学講座 腫瘍内科部門 教授 中川和彦



教育講演 —抗悪性腫瘍薬と臓器障害—

「薬剤性肺障害をめぐって」(午後2時50分～3時30分)

日本内科学会理事 信州大学医学部内科学第一講座 教授 久保恵嗣 先生

主催

北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム、北東北における総合的がん専門医療人の養成、東北がんプロフェッショナル養成プラン、関東広域多職種がん専門家チーム養成拠点、北陸がんプロフェッショナル養成プログラム、高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成、6大学連携オンコロジーチーム養成プラン、銀の道で結ぶがん医療人養成コンソーシアム、中国・四国広域がんプロ養成プログラム、九州がんプロフェッショナル養成プラン、腫瘍内科医会
(平成24年4月から以下に変更予定)

北海道がん医療を担う医療人養成プログラム、東北がんプロフェッショナル養成推進プラン、国際協力型がん臨床指導者養成拠点、次世代がん治療推進専門家養成プラン、ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン、がん多職種チーム医療者の体系的段階的養成、都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育、北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン、次代を担うがん研究者・医療人養成プラン、7大学連携先端的がん教育基盤創造プラン、中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム、九州がんプロ養成基盤推進プラン

<お問い合わせ先>

東北がんプロフェッショナル養成プラン事務局

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院西病棟2階

TEL:022-717-7087 FAX:022-717-7896 E-mail:ganpro@med.tohoku.ac.jp

第3回 腫瘍内科医会 セミナー